

令和 7 年度

「運営に関する計画」

大阪市立加美南部小学校

令和 7 年 4 月

大阪市立加美南部小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校は、素直で子どもらしさにあふれる児童が多い。しかし、自ら進んで意欲的に学習したり、物事を正しく判断して行動したりする面に課題がある。また、不登校や遅刻、登校しても集団になじめない児童も見受けられ、家庭との連携を含めた学習指導と生活指導の充実が不可欠である。

学力面では、習熟度別少人数指導や校内授業研究等を通して、指導方法の工夫や研究の充実を図っているが、基礎・基本の定着が十分とは言えず、今後も授業改善に取り組むとともに、ICT機器を活用した学習保障等にも力を注いでいく必要がある。

情緒面では、「自己肯定感」や「自尊感情」が低く、自分の良さや自分らしさに自信を持ってない児童が多い。学校生活のあらゆる機会をとらえて、豊かな心を育てるための様々な方策を考え、自他を尊重する心の育成を図りたい。

体力面では、校舎改築で運動場の使用が数年間にわたり制限されたこともあり、令和3年度の全国体力・運動能力・運動習慣等調査では、男女ともほとんどの種目で全国平均を下回る結果となった。児童の総合的な体力・運動能力向上をめざし、年間を通して様々な取り組みを行い、運動習慣の定着を図っていききたい。

中期目標**【安全・安心な教育の実現】**

- 令和7年度の小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を80%以上にする。
- 毎年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。
- 令和7年度の学校児童アンケートにおける「仲の良い友だちがいる」の項目について、肯定的に答える児童の割合を92%以上にする。
- 令和7年度の学校保護者アンケートにおける「子どもたちは、自分からあいさつができています」の項目について、肯定的に回答する保護者の割合を90%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、令和3年度よりも向上させる。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、令和3年度よりも増加させる。
- 令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点を、令和3年度よりも2ポイント向上させる。

- 令和7年度の学校児童アンケートにおける「授業はわかりやすい」の項目について、肯定的に答える児童の割合を90%以上にする。
- 令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」の項目について、最も肯定的に答える児童の割合を70%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 全国学力・学習状況調査の「5年生までに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか」の項目について、「ほぼ毎日」と答える児童の割合を毎年向上させる。
- ゆとりの日を、週1回以上設定する。学校閉庁日については、夏季休業期間は3日以上、夏季休業期間以外の休業期間においては1日以上設定する。
- 令和7年度の学校児童アンケートにおける「読書が好きですか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を80%以上にする。
- 令和7年度の学校保護者アンケートにおける「学校のできごとを学校だより、学年だより、学校ホームページなどで伝えている」の項目について、肯定的に回答する保護者の割合を85%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安心・安全な教育の実現】

- 令和7年度の小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を92.9%以上にする。
- 令和7年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
令和6年度：1.13%（4名）
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を87.8%以上にする。
- 令和7年度の学校児童アンケートにおける「仲の良い友だちがいる」の項目について、肯定的に答える児童の割合を97.0%以上にする。
- 令和7年度の学校保護者アンケートにおける「子どもたちは、自分からあいさつができている」の項目について、肯定的に回答する保護者の割合を93.2%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」に回答する児童の割合を79.5%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を72.7%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」の項目について、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を84.6%以上にする。
- 令和7年度の学校児童アンケートにおける「授業はわかりやすい」の項目について、肯定的に答える児童の割合を90.0%以上にする。

○令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点を、前年度よりも向上させる。令和6年度：男子 48.3 女子 48.4

【学びを支える教育環境の充実】

○授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の**50%以上**にする。[ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く]

○第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を**95.83%以上**にする。

○令和7年度の学校児童アンケートにおける「読書が好きですか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を**78.8%以上**にする。

○令和7年度の学校保護者アンケートにおける「学校のできごとを学校だより、学年だより、学校ホームページなどで伝えている」の項目について、肯定的に回答する保護者の割合を**96.1%以上**にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

--

大阪市長 加美南部小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【安全・安心な教育の実現】 ○令和7年度の小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 92.9% 以上にする。 ○令和7年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。 令和6年度：1.13%（4名） ○令和7年度の小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を 87.8%以上 にする。 ○令和7年度の学校児童アンケートにおける「仲の良い友だちがいる」の項目について、肯定的に答える児童の割合を 97.0%以上 にする。 ○令和7年度の学校保護者アンケートにおける「子どもたちは、自分からあいさつができている」の項目について、肯定的に回答する保護者の割合を 93.2%以上 にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向1 安心・安全な教育環境の実現】 ・すべての児童にとって、安全で安心な教育活動を推進する。 ・安全教育、防災・減災教育を推進する。	
指標 ・生活指導部会（月1回）を実施し、各学年の状況を把握し、対策について話し合う。 ・交通安全教室、防災体験学習などの取り組み（年2回以上）を実施する。	
取組内容②【基本的な方向2 豊かな心の育成】 ・基本的な生活習慣として、あいさつ、きまりや時間を守ること、清掃の大切さなどの定着を図る。 ・互いの違いを認め合い、自他を尊重する態度を育成する。 ・すぐれた芸術にふれる機会や社会見学等の機会をつくり、豊かな心の育成を図る。	

<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生活指導強調週間」(各学期1回)等を充実させることで、学校のきまりを守る児童の割合を90%以上にする。(事後アンケートで検証) ・児童会を中心に「あいさつ運動」(各学期1回)、「美化点検」(年30回以上)を実施する。 ・人権にかかわる体験学習(全学年:年1回)、教職員研修(年1回)等を実施する。 ・「芸術鑑賞会」(年1回)や社会見学等の体験活動(全学年:年1回以上)を実施する。 	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	

大阪市内 加美南部小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【未来を切り拓く学力・体力の向上】 ○令和7年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」に回答する児童の割合を 79.5%以上 にする。 ○小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 72.7%以上 にする。 ○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」の項目について、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 84.6%以上 にする。 ○令和7年度の学校児童アンケートにおける「授業はわかりやすい」の項目について、肯定的に答える児童の割合を 90.0%以上 にする。 ○令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点を、前年度よりも向上させる。 令和6年度：男子 48.3 女子 48.4	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容③【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 ・習熟度別少人数指導やTTにより、個に応じたきめ細やかな指導を行う。 ・校内研究を通して指導力の向上を図り、「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざす。 ----- 指標 ・教員の公開授業を年間15回以上実施する。 ・教育指導員等を指導要請し、研究授業（年6回）・研究協議を実施する。	
取組内容④【基本的な方向5 健やかな体の育成】 ・感染症対策をはじめ、安全・安心な校内環境、教育環境づくりに努め、自主的な健康管理及び規則正しい生活習慣の態度を育てる。 ・体育的行事や「体力づくりにつながる遊び」を充実させて、運動習慣の定着と児童の体力向上を図る。 ----- 指標 ・日常的に、教職員による校内環境の安全点検・衛生管理等を実施する。 ・「救急救命」、「食物アレルギー対応」等の教職員研修を年1回以上実施する。 ・「保健だより」、「えいようだより」を月1回発行し、家庭（保護者）への啓発をすすめる。	

・ドッジボール大会、かけあし週間、なわとび週間等の体育的行事を工夫して、運動に親しむ機会を設定する。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市長 加美南部小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【学びを支える教育環境の充実】 ○授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 50%以上 にする。[ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く] ○第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を 95.83%以上 にする。 ○令和7年度の学校児童アンケートにおける「読書が好きですか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を 78.8%以上 にする。 ○令和7年度の学校保護者アンケートにおける「学校のできごとを学校だより、学年だより、学校ホームページなどで伝えている」の項目について、肯定的に回答する保護者の割合を 96.1%以上 にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容⑤【基本的な方向6 教育DX（デジタルトランスフォーメーションの育成）】 ・ICT（学習用端末）を活用した教育の推進を図る。 ----- 指標 ・「心の天気」や授業、家庭学習等で、1日1回は学習用端末を児童が使用する。	
取組内容⑥【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 ・行事の精選や会議の効率化など働き方改革を進め、時間外勤務時間の減少を図る。 ----- 指標 ・「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1を満たす教員の割合を 91.67%以上 にする。	
取組内容⑦【基本的な方向8 生涯学習の支援】 ・学校図書館の整備（蔵書の整理、データベース化等）に努めるとともに、児童の学校図書館を活用した学習・読書活動を推進する。 ----- 指標 ・学校図書館の整備（蔵書の分類・整理、データベース化等）をすすめる。また、学校図書館の開館数、来館児童数を増やす。（年間300回以上の開館）	
取組内容⑧【基本的な方向9 家庭・地域との連携・協働した教育の推進】 ・学校で行っている教育活動の内容を保護者や地域にしっかりと伝え、地域学校協働	

活動を推進する。	
指標 ・「学校だより」と「学年だより」を毎月発行し、長期休業中と休日以外は、学校ホームページを最低でも１日に１回以上は更新する。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	